



2010年3月期決算および 中期経営計画について

2010年 5月 18日

日本軽金属株式会社



1 . 2010年3月期 決算の概要

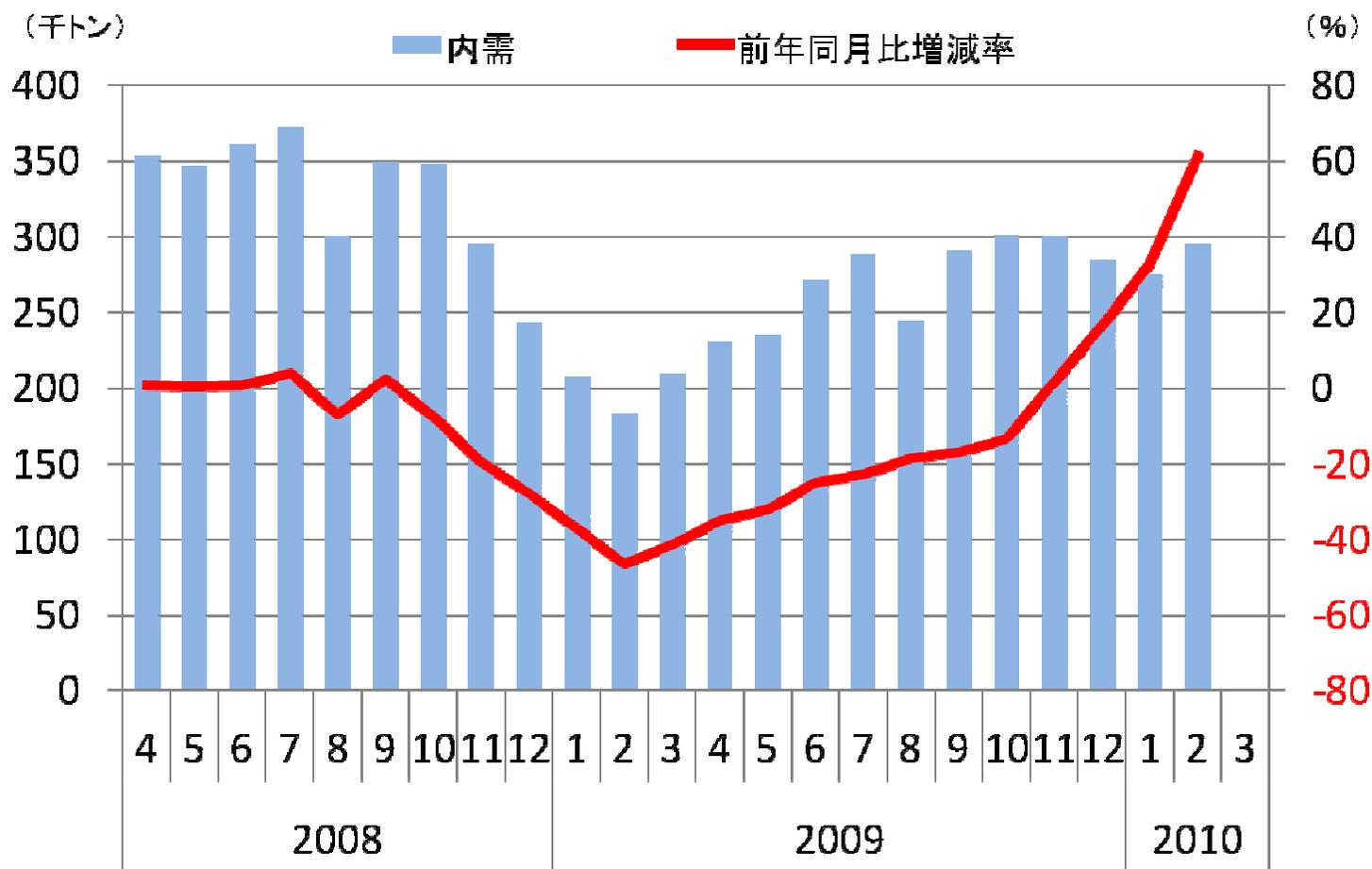
2 . 中期経営計画 (2010年度～2012年度)

3 . 2011年3月期 業績予想

09年度決算のハイライト(1)

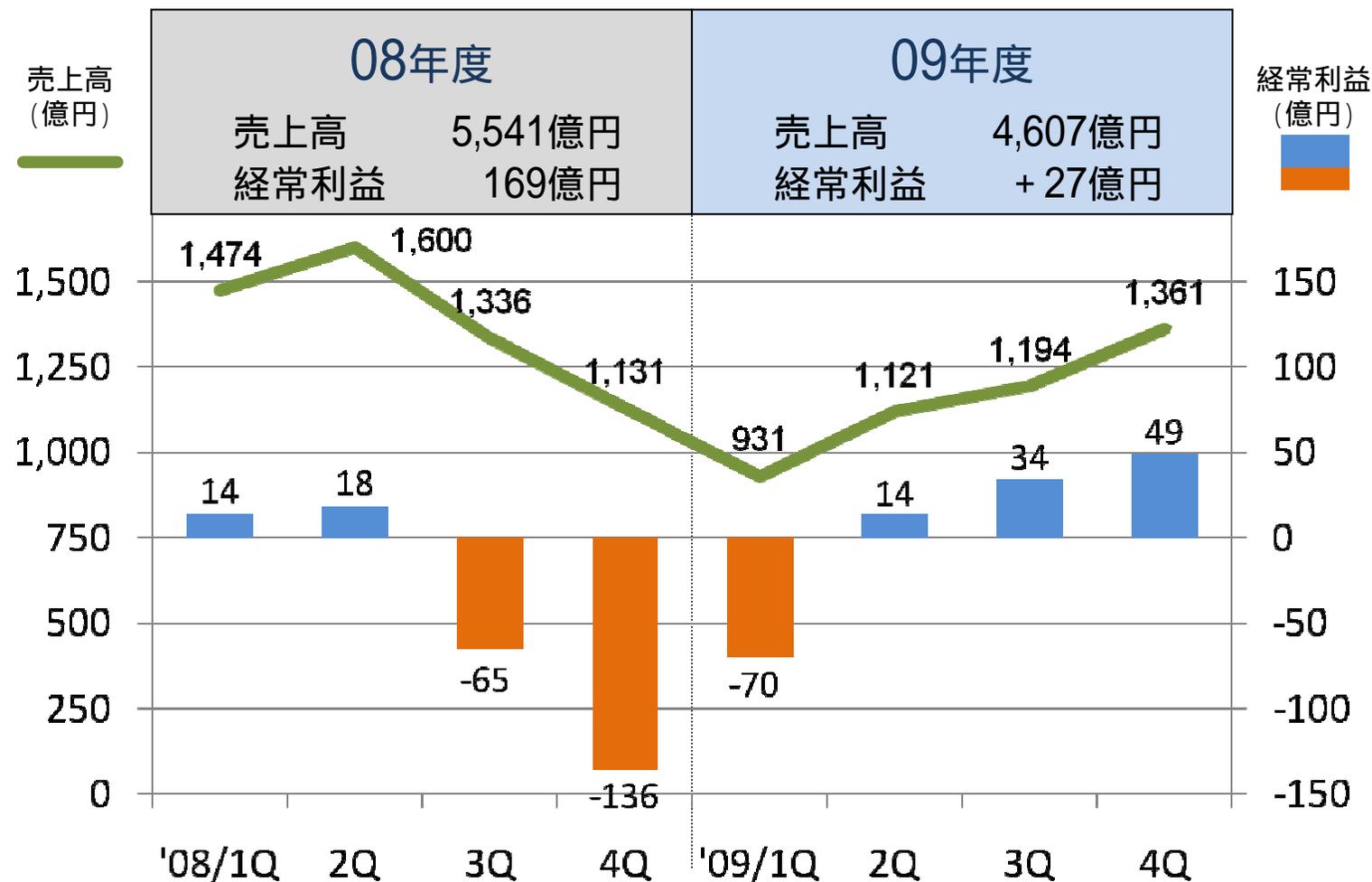


国内アルミ製品総需要の推移



出所：日本アルミニウム協会

09年度決算のハイライト(2)



09年度決算のハイライト(3)



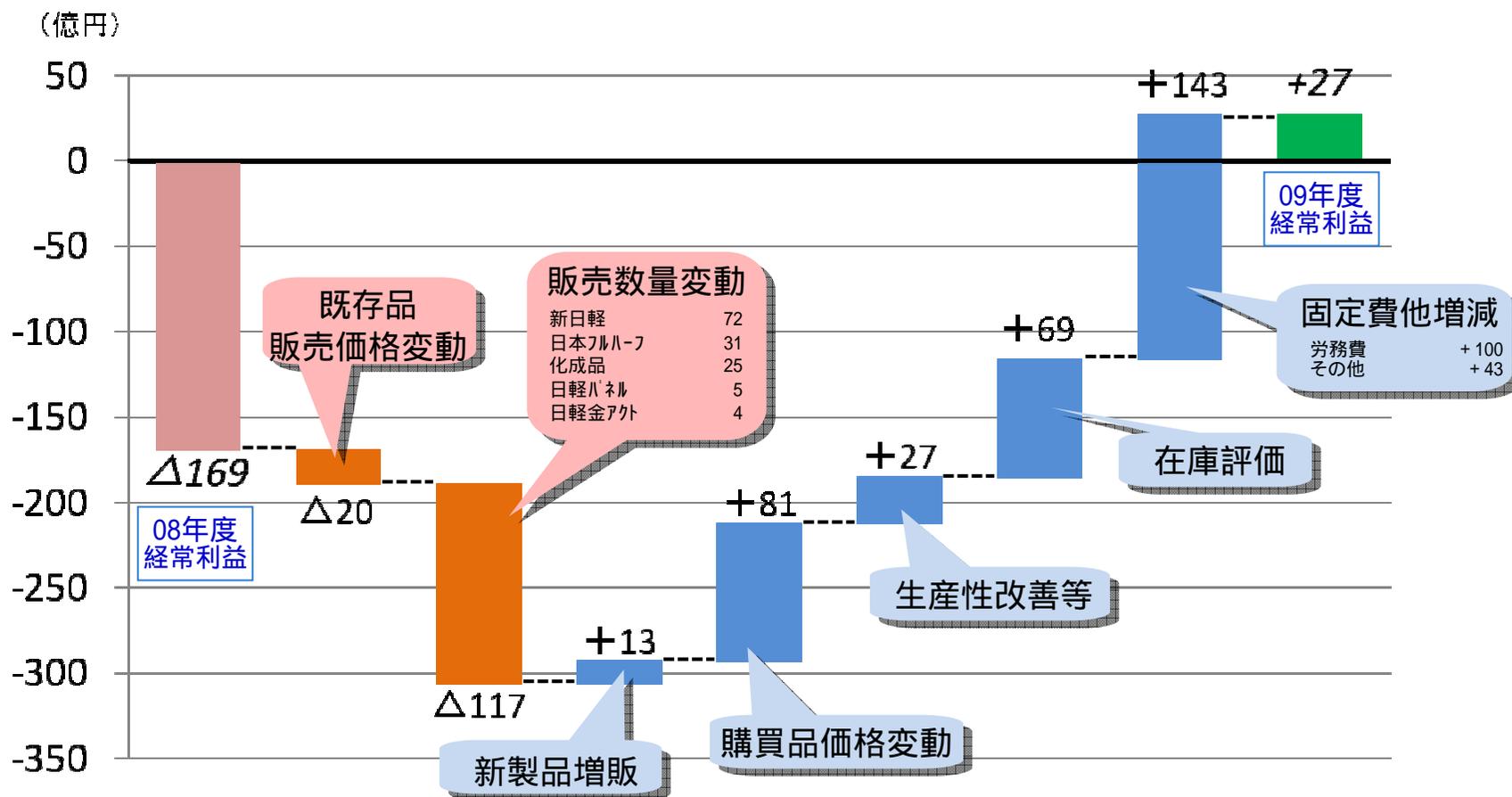
(億円)

	2009年度 実績	2008年度 実績	前期比	期初予想	期初予想比
売上高	4,607	5,541	934 (- 16.9%)	4,700	93 (- 2.0%)
営業利益	77	119	+ 196 (-)	90	13 (- 14.7%)
経常利益	27	169	+ 196 (-)	20	+ 7 (+ 34.1%)
当期純利益	21	314	+ 335 (-)	5	+ 16 (+ 316.8%)
有利子負債	2,212	2,313	101	2,360	148
ネットDEレシオ	2.0倍	2.2倍	-	-	-
R O C E	2.2%	4.1%	-	-	-

経常利益変化要因



08年度 169億円 09年度 +27億円 196億円改善





1 . 2010年3月期 決算の概要

2 . 中期経営計画 (2010年度～2012年度)

3 . 2011年3月期 業績予想

策定の背景と位置付け



< 前・中期経営計画 (2007 - 2009年度) >

- 外部環境の急変により数値目標は未達成であり、財務体質の改善には至らなかったが、基本方針で定めた諸施策は着実に実行

新日軽(株)の譲渡を決定し、建材事業の構造改革を完遂
成長分野への取り組み・海外展開を加速

< 足下の課題 >

- 新日軽分離後の日軽金グループ再構築
- 外部環境に左右されない基礎収益力の確立と財務体質の強化
- 地球環境への貢献、コーポレート・ガバナンスの充実、人財育成

< 新・中期経営計画 (2010 - 2012年度) >

- 各事業ユニットが、5年後(2014年度)をイメージし、そこに至るための3ヵ年の方針とアクションプランを作成

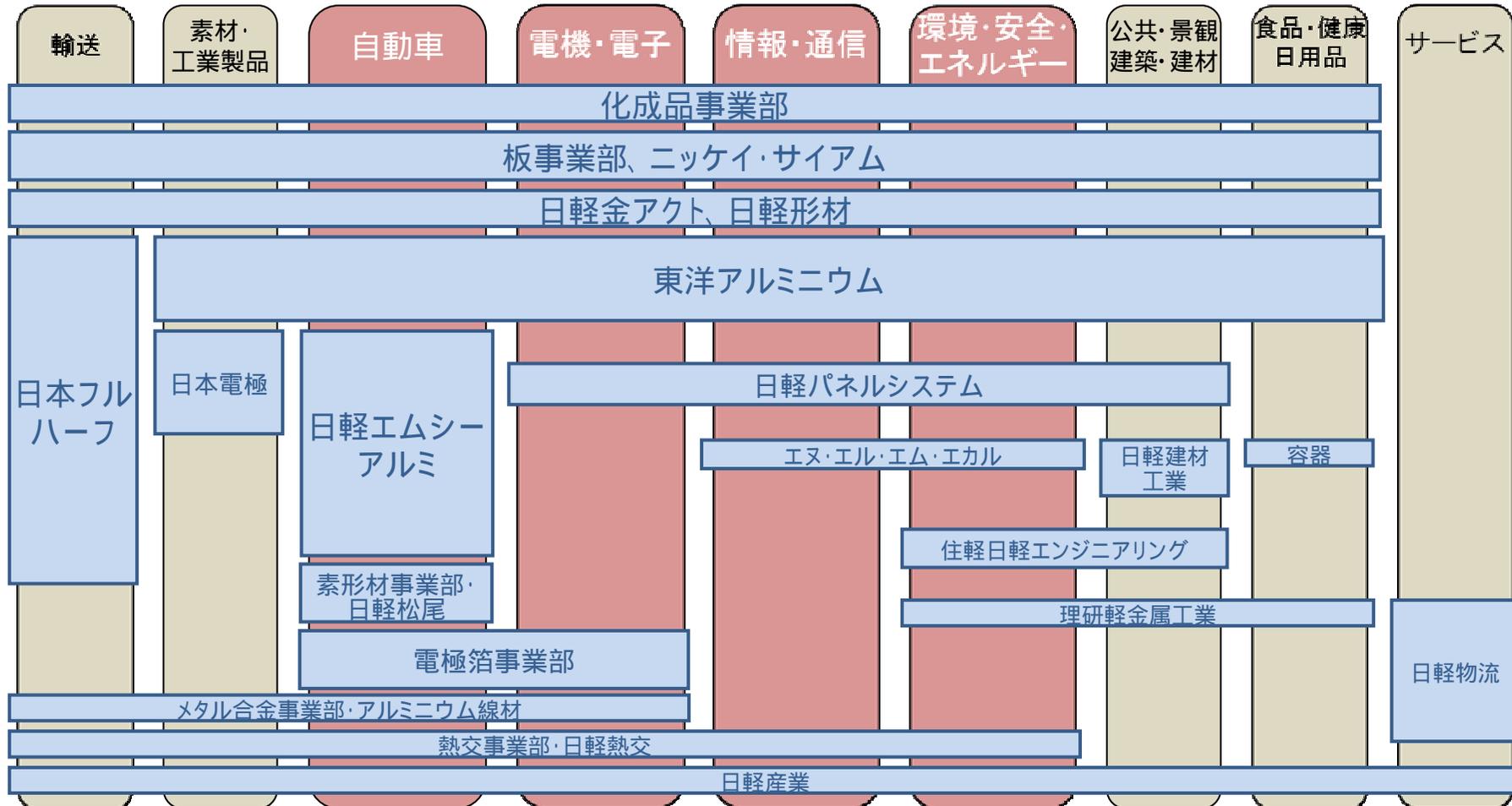
本計画において日軽金グループの新成長戦略を具現化

基本方針



1. 成長分野を攻めるユニットへの資源集中
2. 業界NO.1ビジネスの強化
3. 中国、東南アジアを中心とする海外ビジネス展開加速
4. 要素技術複合化による用途開発と新商品の創出
5. アルミニウムの特性の追求による地球環境保全への貢献
6. 財務体質改善と復配
7. 人財育成 (07中計からの継承)
8. CSRとコーポレートガバナンス (07中計からの継承)

日軽金グループの事業領域



成長分野を攻めるユニットへの資源集中(1)



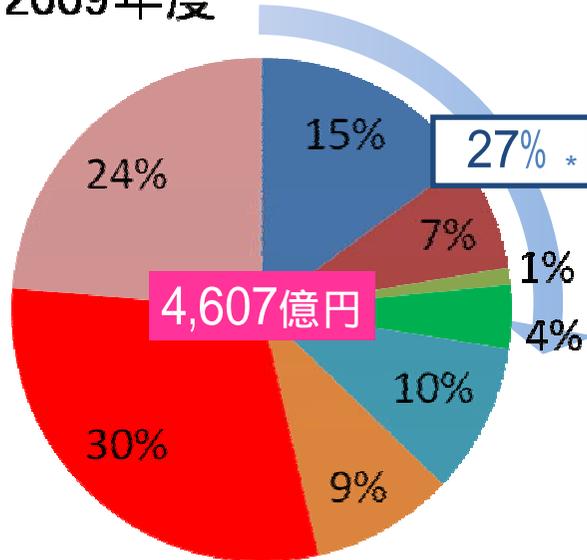
今後の成長や新たな用途開発が見込める

自動車 電機・電子材料 情報・通信 環境・安全・エネルギー 市場

この4市場を攻めるユニットへ重点的に経営資源を投入

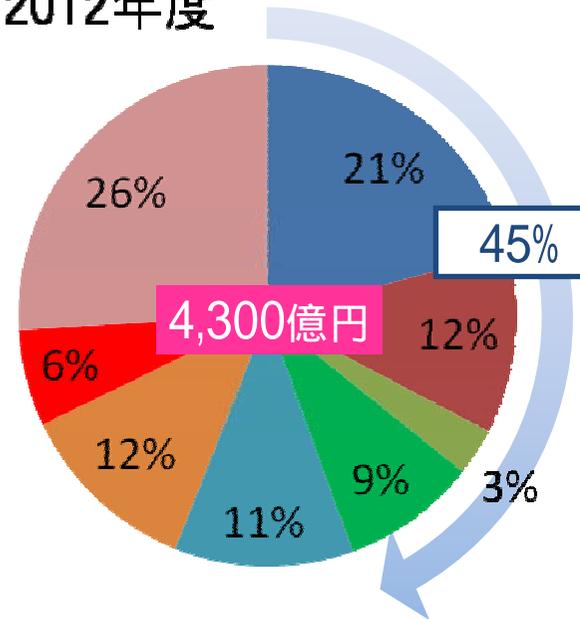
戦略4市場の売上高構成比

2009年度



* 2009年度は新日軽を除くと36%

2012年度

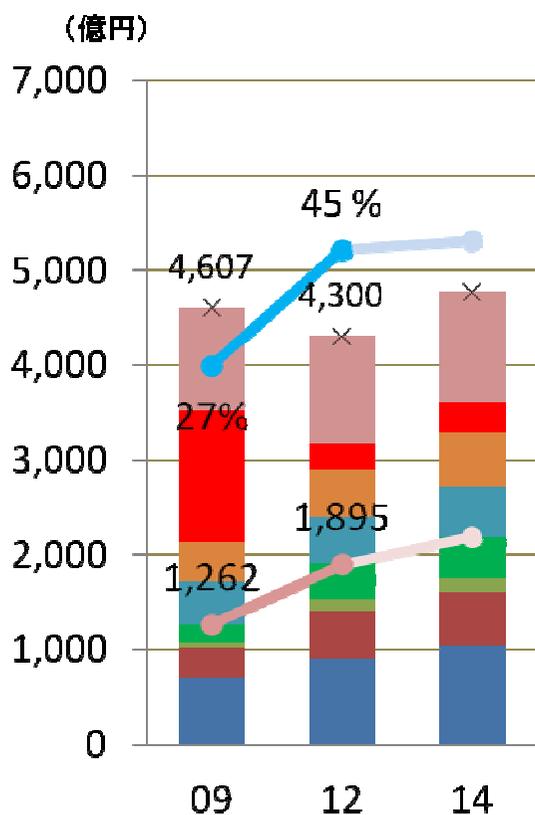


- 自動車
- 電機・電子材料
- 情報・通信
- 環境・安全・エネルギー
- 輸送
- 食品・健康・日用品
- 公共・景観・建材・建築
- その他

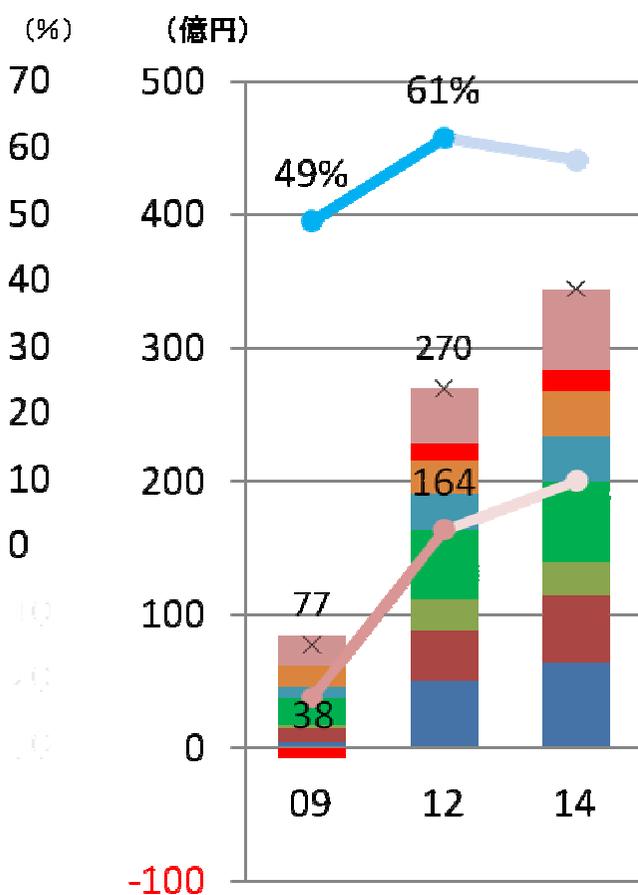
成長分野を攻めるユニットへの資源集中(2)



売上高構成



営業利益構成



- その他
- 公共・景観・建材・建築
- 食品・健康・日用品
- 輸送
- 環境・安全・エネルギー
- 情報・通信
- 電機・電子材料
- 自動車
- 4市場合計
- × 合計
- 4市場構成比

成長分野を攻めるユニットへの資源集中(3)



自動車

(売上高) 09年度 687億円 12年度 890億円

化成品事業部: アルミナ(自動車触媒)
メタル合金事業部: ワイヤーハーネス用素材
日軽エムシーアルミ: 開発合金 海外新拠点
日軽金アクト: 自動車部品 中国強化
板事業部、ニッケイサイアム: 熱交材 現調対応
東洋アルミニウム: パウダー・ペースト
素形材事業部、日軽松尾: LED用放熱ダイカスト
熱交事業部、日軽熱交: 次世代コンデンサー

電機・電子

(売上高) 09年度 336億円 12年度 500億円

化成品事業部: FPD、半導体関連素材、放熱フィラー
板事業部: 厚板加工製品
東洋アルミニウム: 箔、パウダー・ペースト
電極箔事業部: 高容量箔開発

情報通信

(売上高) 09年度 51億円 12年度 130億円

板事業部: 電池材、筐体材
日軽金アクト、日軽熱交: 液冷モジュール
東洋アルミニウム: パウダーペースト
NLMエカル: モジュール型データセンター

環境・安全・エネルギー

(売上高) 09年度 188億円 12年度 375億円

板事業部: LiB関連材料
日軽金アクト: MAXUS
東洋アルミニウム: バックシート、パウダー・ペースト
増設
日本電極: LiB関連素材
住軽日軽エンジニアリング: 耐震ブレース

成長分野を攻めるユニットへの資源集中(4)



東洋アルミニウム

電子機能材事業

- ・太陽電池用バックシート増産(中国)
- ・太陽電池用電極インキ(アルソーラー)および原料粉末製造設備増設(国内、中国)

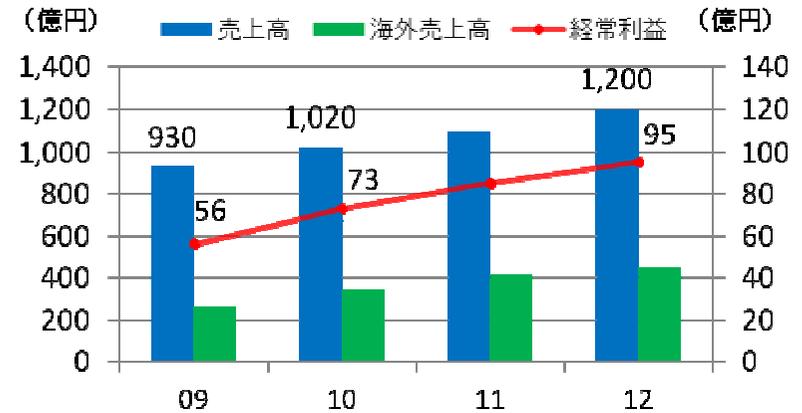
箔事業

- ・機能性固体高分子コンデンサー用箔増産
- ・コンデンサー箔拡販
- ・医薬品包材用加工箔増販
- ・撥水性アルミ箔(新商品)

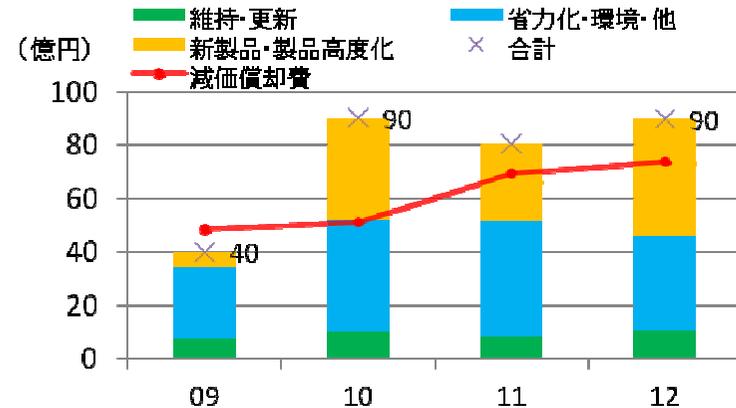
ペースト事業

- ・自動車・家電塗料用高輝度ペースト拡販
- ・環境対応水性ペースト拡販

売上高および経常利益



設備投資



業界No.1ビジネスの強化(1)



日軽金グループのNo.1ビジネス

アルミナ・化成品、地金セグメント

化成品

アルミナ、水酸化アルミ
有機塩素化合物

日軽エムシーアルミ

開発合金

板、押出製品

板

Liイオン電池ケース素材

日軽金アクト

トラック部材、新幹線部材

加工製品、関連事業

東洋アルミニウム

自動車塗料用ペースト
太陽電池関連素材
箔事業

日本フルーフ

トラック架装事業

日軽パネルシステム

パネル事業

日軽産業

溶接線

日本電極

高炉用カーボンブロック

容器

ビール樽

住軽日軽エンジニアリング

アルミ製景観構造物

業界No.1ビジネスの強化(2)



アルミナ・化成品

原料転換(ボーキサイト輸入 水酸化アルミ輸入)を機に販売量増加を図るとともに、高付加価値製品(高純度、微粒)の能力増強・拡販を行う

- ・ アルミナ、水酸化アルミ製品の高付加価値化……ローソーダ、高純度、微粒
- ・ 有機塩素化合物……医薬・農薬、電子部品、樹脂向け製品開発と拡販

成長分野への資源集中

自動車

・ 高機能プラグ向け、排ガス浄化フィルター向け製品の拡販

電機・電子

・ 放熱フィラー向け拡販。LED、LiB向け製品開発

海外ビジネスの展開加速

- ・ 韓国・台湾・東南アジア向け輸出拡大
(耐火物、液晶ガラス、凝集剤向け水酸化アルミ)

用途開発、新商品創出

- ・ 放熱フィラー用、LiB用、サファイア基板用アルミナ製品開発

中国、東南アジアを中心とする 海外ビジネス展開加速

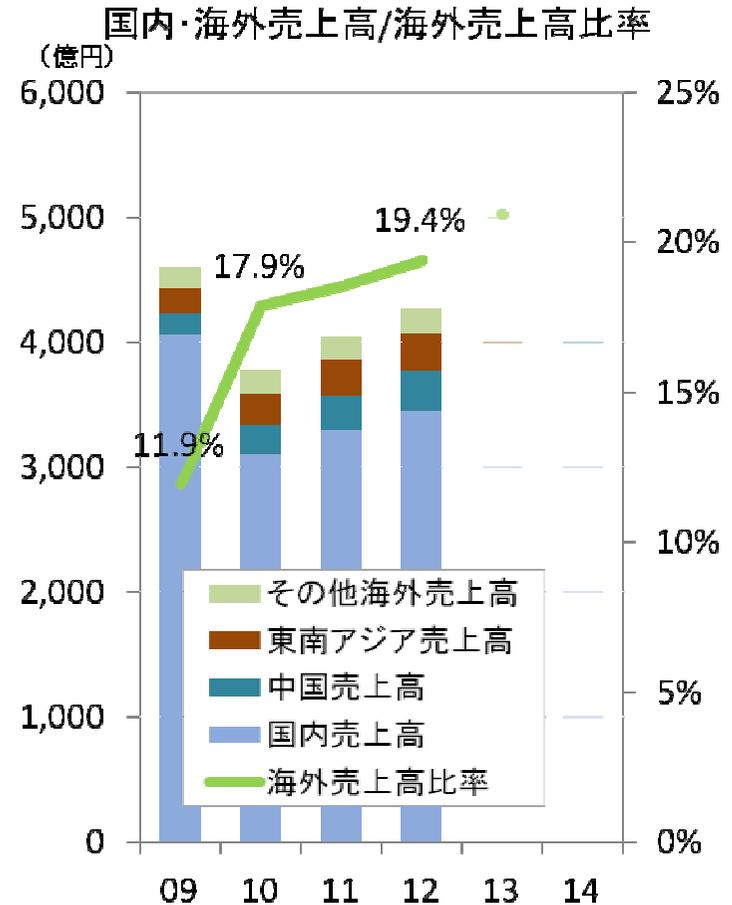


計画実施予定

- 東洋アルミニウム： 肇慶東洋アルミ
 - 太陽電池用バックシート設備増設
 - 太陽電池用電極インキ設備新設
- 日軽金アクト： 日軽(上海)自動車配件
 - サンルーフレール設備増設
- 板事業部： ニッケイ・サイアム
 - 熱交材、箔用を中心に板生産能力増強

新中計で検討する拠点

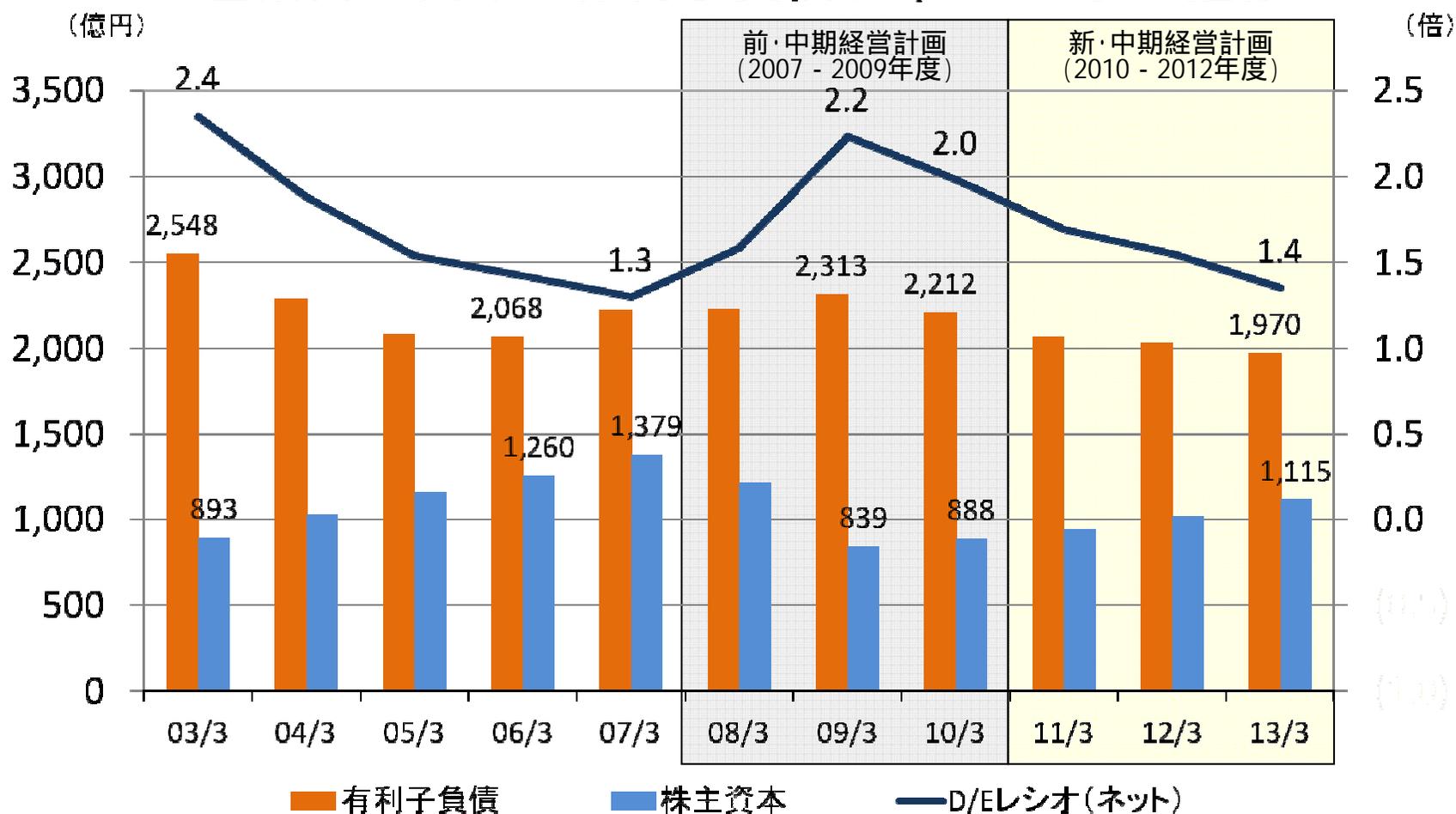
- 日軽エムシーアルミ： アジア第3拠点
- 日軽金アクト： 中国第3拠点
- 東洋アルミニウム： 原料粉末製造ライン
- 日本フルーフ： 中国新拠点
- 日軽パネルシステム： 東南アジア新拠点
- 熱交事業部： 東南アジア新拠点
- その他



財務体質改善と復配(1)



連結自己資本と有利子負債、D/Eレシオの推移

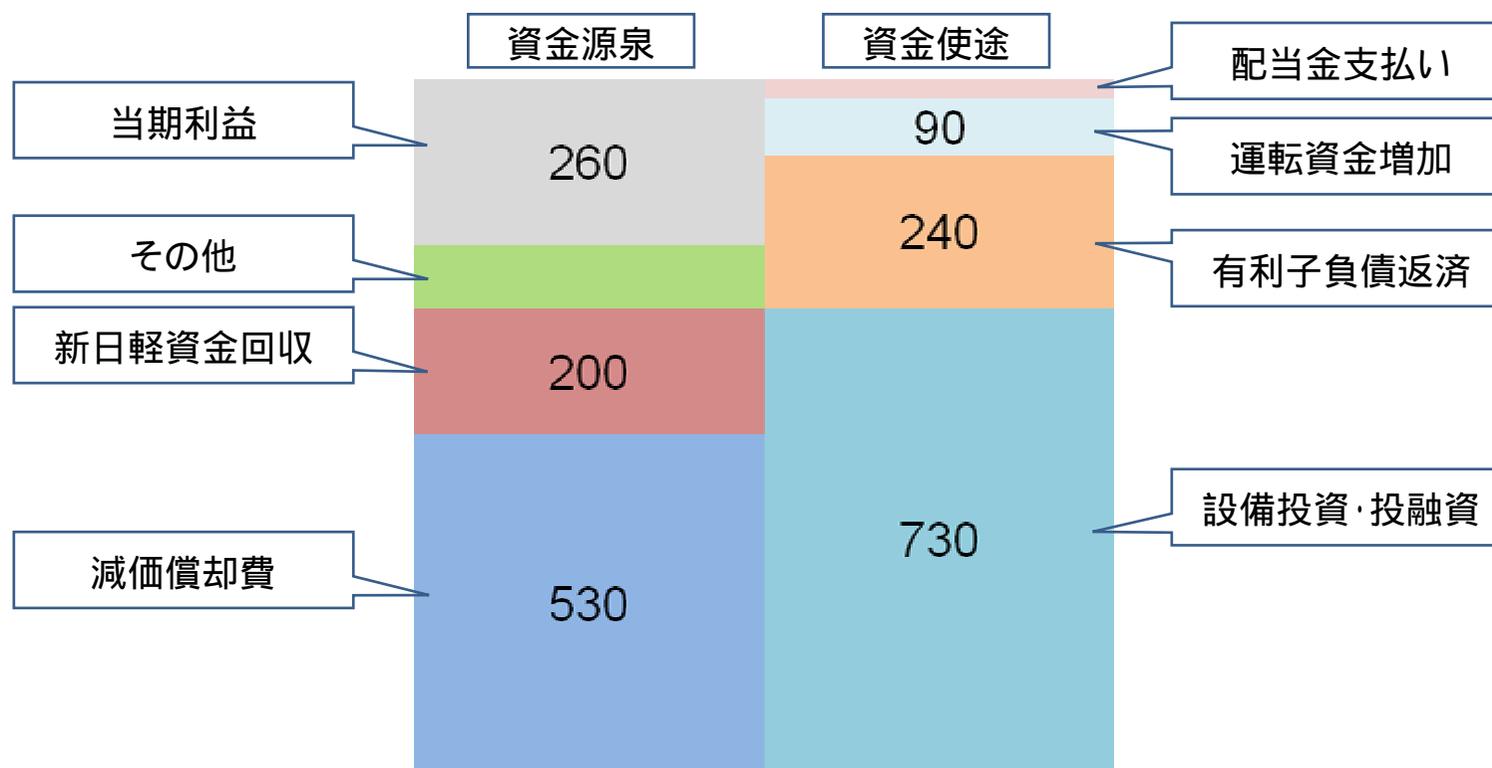


財務体質改善と復配(2)



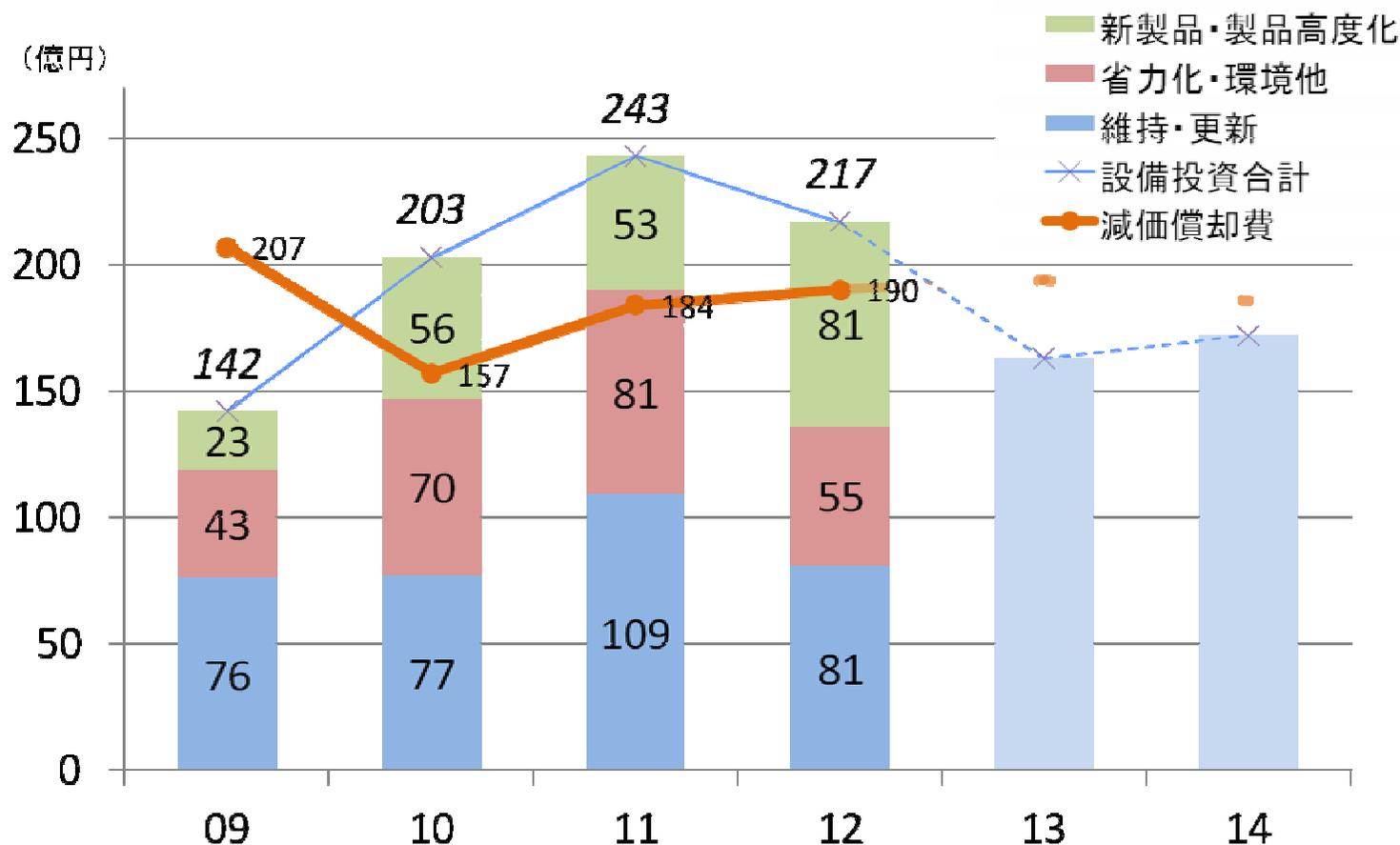
2010-2012年度 キャッシュ・フロー

(億円)



- ・新日軽の資金を回収し、成長分野へ投資
- ・利益を原資に復配するとともに、有利子負債も返済し、財務体質を改善

設備投資および減価償却費



主な設備投資 (3カ年合計)



化成品事業部	清水工場原料転換関連	60億円
東洋アルミニウム	太陽電池用電極インキ増産	27億円
	太陽電池用バックシート増産	10億円
日軽パネルシステム	ノンフロンパネル生産ライン	10億円
ニッケイ・サイアム	圧延能力増強	8億円

2012年度 数値目標



(億円)

	< 2009年度 >	< 2012年度 >
売上高	4,607 [*]	4,300
営業利益	77	270
経常利益	27	200
当期純利益	21	120
期末有利子負債	2,212	1,970
ネットD/Eレシオ	2.0倍	1.4倍
R O C E	2.2%	9.1%

* 新日軽を除いた売上高は
3,441億円。

<実績>

地金市況: 212千円/トン
為替: 93円/US\$

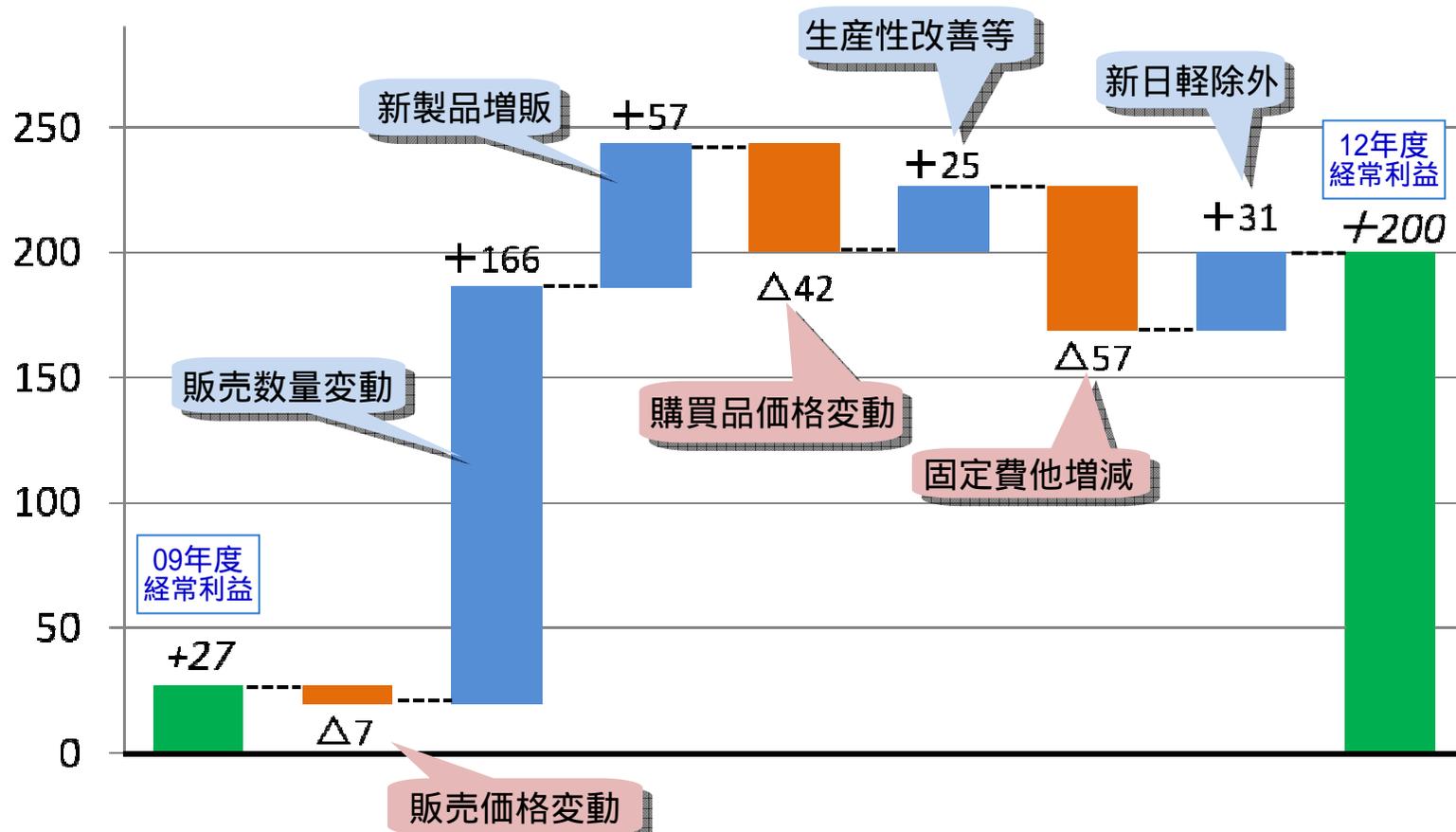
<前提>

地金市況: 250千円/トン
為替: 90円/US\$

経常利益変化要因 (09年度 12年度)



09年度 +27億円 12年度 +200億円 173億円改善
(億円)





1 . 2010年3月期 決算の概要

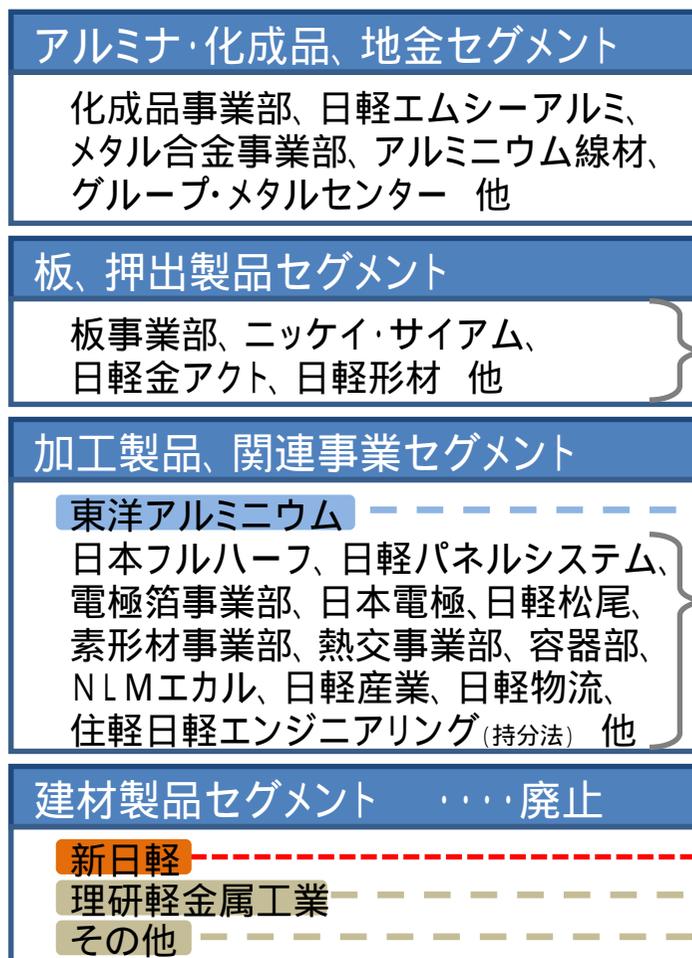
2 . 中期経営計画 (2010年度～2012年度)

3 . 2011年3月期 業績予想

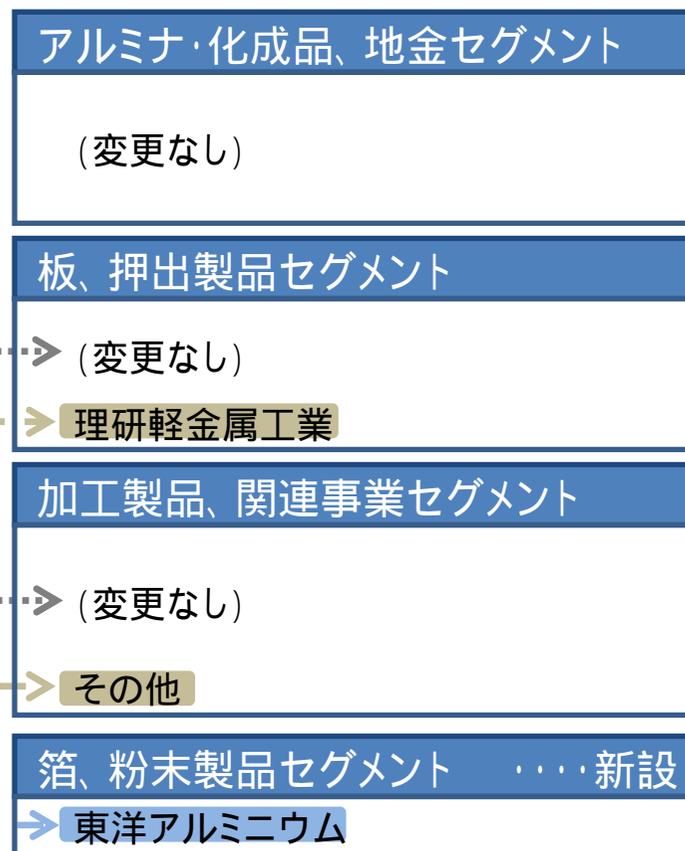
事業セグメントの変更



09年度までのセグメント



10年度からのセグメント



➤ 2010.04.01 株式会社住生活グループへ譲渡

2010年度 連結業績予想



(億円)

	2010年度 予想	2009年度 実績	増減
売上高	3,800	4,607	807 (17.5%)
営業利益	160	77	+ 83 (+ 108.5%)
経常利益	100	27	+ 73 (+ 272.9%)
当期純利益	55	21	+ 34 (+ 163.9%)
有利子負債	2,070	2,212	142
ネットDEレシオ	1.7倍	2.0倍	-
R O C E	5.0%	2.2%	+ 2.8p

セグメント情報

(2009年度実績を新セグメントに組替え)



(億円)

	売上高			営業利益		
	2010年度 予想	2009年度 実績	差異	2010年度 予想	2009年度 実績	差異
アルミ・化成品、 地 金	970	881	+ 89 (+ 10.1%)	65	34	+ 31 (+ 89.8%)
板、押出製品	710	600	+ 110 (+ 18.3%)	15	4	+ 19 (-)
加工製品、 関連事業	1,100	1,063	+ 37 (+ 3.6%)	30	40	10 (- 22.1%)
箔、粉末製品	1,020	930	+ 90 (+ 9.7%)	75	51	+ 24 (+ 45.9%)
建材製品	-	1,133	1,133 (-)	-	18	+ 18 (-)
管理・共通	-	-	-	25	26	+ 1
合計	3,800	4,607	+ 807 (+ 17.5%)	160	77	+ 83 (+ 108.5%)

主要会社の業績予想



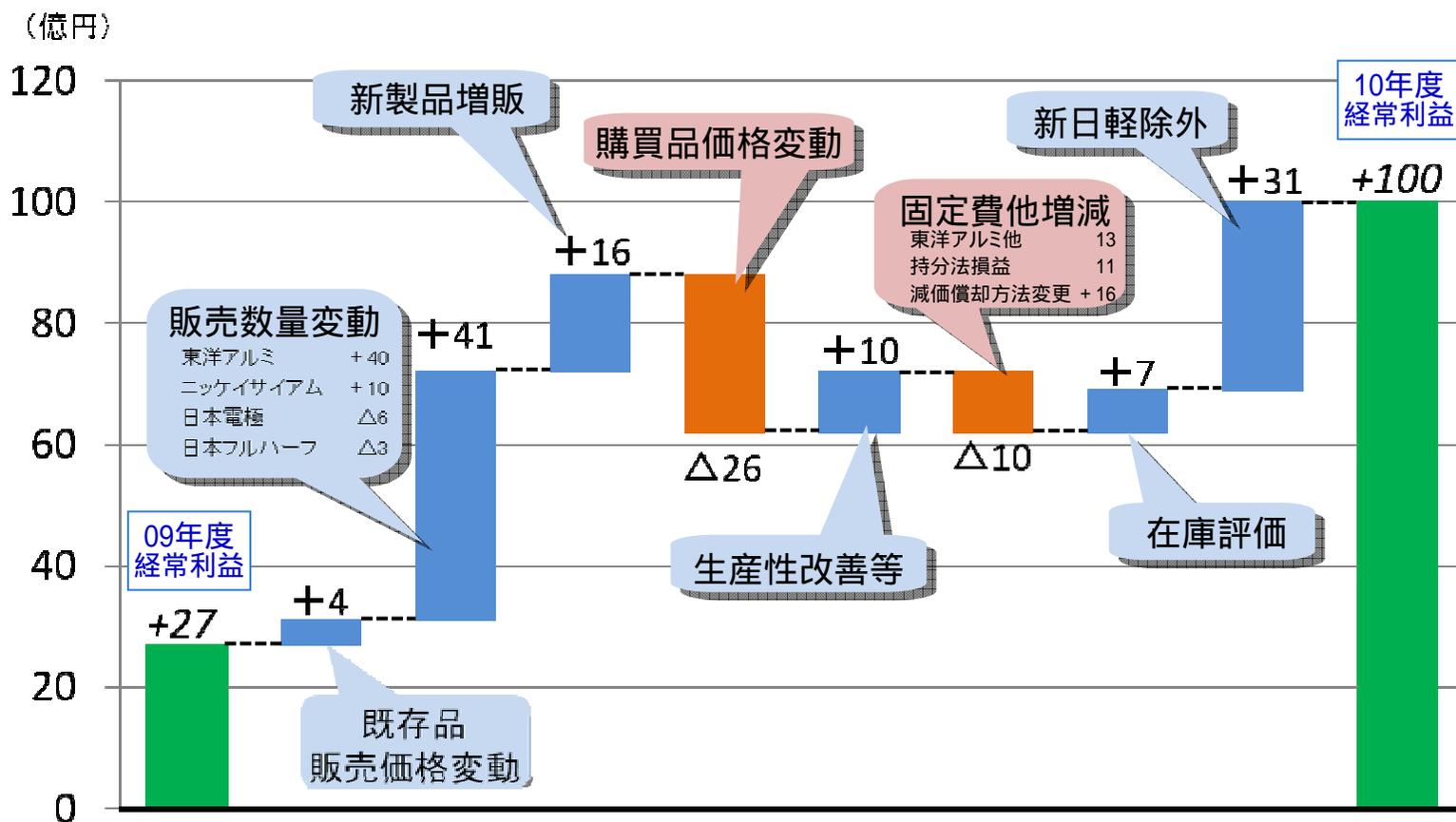
(億円)

	2010年度 予想				2009年度 実績			
	売上高	営業利益	経常利益	当期利益	売上高	営業利益	経常利益	当期利益
日本軽金属 (単体)	1,364	18	13	16	1,248	4	22	14
新日軽 (連結)	-	-	-	-	1,166	16	31	46
東洋アルミニウム (連結)	1,020	75	73	41	930	51	56	35
日軽エムシーアルミ (連結)	428	9	8	7	406	5	6	16
日本フルーフ (連結)	333	4	2	1	356	2	0	4
日軽金アクト	298	6	7	5	269	4	1	3

経常利益変化要因



09年度 +27億円 10年度 +100億円 73億円改善



アルミにこだわり、
アルミを超えていく

 **NLM 日本軽金属株式会社**

補足資料

売上高・営業利益 - 前期比



(億円)

	売上高			営業利益		
	2009年度 実績	2008年度 実績	差異	2009年度 実績	2008年度 実績	差異
アルミ・化成品、 地 金	881	1,207	326 (27.0%)	34	7	+ 27 (+ 357.9%)
板、押出製品	549	668	119 (17.8%)	7	57	+ 50 (-)
加工製品、 関連事業	1,983	2,265	282 (12.5%)	90	40	+ 50 (+ 125.0%)
建材製品	1,194	1,401	207 (14.7%)	14	79	+ 65 (-)
管理・共通	-	-	-	26	30	+ 4
合 計	4,607	5,541	934 (16.9%)	77	119	196 (-)

売上高・営業利益 - 期初予想比



(億円)

	売上高			営業利益		
	2009年度 実績	2009年度 期初予想	差異	2009年度 実績	2009年度 期初予想	差異
アルミ・化成品、 地 金	881	960	79 (8.2%)	34	40	6 (14.4%)
板、押出製品	549	530	+ 19 (+ 3.5%)	7	5	12 (-)
加工製品、 関連事業	1,983	1,930	+ 53 (+ 2.7%)	90	55	+ 35 (+ 62.7%)
建材製品	1,194	1,280	86 (6.7%)	14	20	34 (-)
管理・共通	-	-	-	26	30	+ 4
合 計	4,607	4,700	93 (2.0%)	77	90	13 (14.7%)

経常利益



(億円)

	2009年度 実績	2008年度 実績	前期比	2009年度 期初予想	期初予想比
経常利益	27	169	+ 196	20	+ 7

(億円)

前期比 + 196億円 の内訳	
営業利益の増加	+ 196
持分法損益の改善	+ 2
その他 (為替差損等)	2

(億円)

期初予想比 + 7億円 の内訳	
営業利益の減少	13
支払利息の減少	+ 10
持分法損益の改善	+ 9
その他	+ 1

当期損益



(億円)

	2009年度 実績	2008年度 実績	前期比	2009年度 期初予想	期初予想比
当期損益	21	314	+ 335	5	+ 16

(億円)

前年同期比 + 335億円 の内訳	
経常利益の増加	+ 196
特別損益の改善	+ 65
税金費用の減少	+ 90
少数株主損失の減少	16

(億円)

期初予想比 + 16億円 の内訳	
経常利益の増加	+ 7
特別損失の計上	85
税金費用の減少	+ 93
少数株主損失の増加	+ 1

キャッシュ・フロー計算書



2009年度

< 源泉 >

< 使途 >

営業活動による キャッシュ・フロー 263億 円		固定資産の取得 による支出等 158億 円	
税引前当期純利益 58 減価償却費 207 事業譲渡損・減損損失 72 棚卸資産評価損 69 運転資金 140 特別退職金支払等 29	社債・借入金の 減少等 89億円		現金・同等物の増加 16億円

2008年度

< 源泉 >

< 使途 >

営業活動による キャッシュ・フロー 267億 円		固定資産の取得 による支出等 221億 円	
社債・借入金の 増加等 83億円		現金・同等物の 増加 110億 円	
		配当金支払額 19億円	

設備投資・減価償却費



(億円)

	09年度 設備投資			09年度 減価償却費		
	実績	計画	差異	実績	計画	差異
アルミナ・化成品、地金	43	56	13	48	47	+1
板、押出製品	24	28	4	43	41	+2
加工製品、関連事業	58	97	39	85	91	6
建材製品	17	20	3	31	36	5
合計	142	201	59	207	215	8

設備投資・減価償却費



(億円)

	設備投資			減価償却費		
	10年度 計画	09年度	増減	10年度 計画	09年度	増減
アルミナ・化成品、地金	46	43	+ 3	34	48	14
板、押出製品	32	26	+ 6	35	46	11
加工製品、関連事業	35	18	+ 17	37	38	1
箔、粉末製品	90	40	+ 50	51	47	+ 4
建材製品	-	15	15	-	28	28
合計	203	142	+ 61	157	207	50

2009年度は新セグメントに組替え後の数値